

脳神経内科

1 スタッフ

科長（准教授）	崎山 快夫
医員（助教）	堤内 路子 藤田 和樹
シニアレジデント	2名
非常勤医員	2名 (大学院生1名含む)

2 診療科の特徴

・ 認定施設

日本神経学会認定教育施設
日本脳卒中学会認定教育病院

・ 認定医

神経内科専門医 3名
総合内科専門医 3名
脳卒中専門医 1名

3 診療実績・クリニカルインディケーター

1) 新来患者数・再来患者数・紹介率

新来患者数 888人
再来患者数 7417人

2) 入院患者数（病名別）

病名	患者数
脳血管障害	196人
免疫関連性中枢神経疾患 (MS, NMDA 受容体脳炎など)	31人
神経感染症 (細菌性・ウイルス性髄膜炎・脳炎など)	9人
神経変性疾患 (パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症など)	33人
末梢神経疾患 (ギラン・バレー症候群、CIDP など)	23人

筋疾患 (筋炎、皮膚筋炎、ジストロフィーなど)	16人
発作性疾患 (てんかん、片頭痛など)	30人
代謝	15人
外傷、骨格	3人
先天性	5人
腫瘍	3人
その他	34人
合計	398人

実働入院ベッド数 17.4床 / 日

年間入院患者実数 398人 / 年

平均在院日数 16.0日

3) その他の治療症例・数

- ・ 急性期脳梗塞の rt-PA 静注療法 10例
- ・ 脊髄性筋萎縮症のヌシネルセン髄注療法 1例

4) クリニカルインディケーター

死亡症例・死因・剖検数・剖検率
7例：感染2例、脳梗塞1例、代謝疾患1例、変性疾患1例、筋疾患1例、その他1例・剖検数0件・剖検率0%

5) 主な処置・検査

- ・ 脳波 151件
- ・ 末梢神経伝導検査 289件
- ・ 誘発電位 32件
- ・ 針筋電図 63件
- ・ 平衡機能検査 15件
- ・ 神経筋生検 5例

4 カンファレンス

1) カンファレンス・回診

水曜 8 時00分より抄読会、カンファレンス・科長回診

月、火、木、金曜 8 時30分よりスタッフ回診

月～金曜16時30分よりスタッフ回診

2) 他科とのカンファレンス

月曜日 14時より5A 病棟多職種合同リハビリテーションカンファレンス

火曜日 14時より 5B 病棟多職種合同リハビリテーションカンファレンス

火曜日 15時より脳神経外科・救命センター・脳神経内科による脳卒中合同カンファレンス

3) 多施設とのカンファレンス

日本神経学会 関東・甲信越地方会

4 回／年

小児科から成人診療科への移行を語る会

1 回／年

埼玉県神経内科医会

1 回／年

さいたま難病診療連携 WEB セミナー

1 回／年

5 研究・学会活動

①小児期発症疾患の成人神経内科への移行状況に関する検討

上記に関して、日本難病ネットワーク学会で発表し、同学会および日本神経学会学の小児－成人移行医療対策特別委員会の活動を行った（堤内、崎山）。

②片頭痛の発症予測としての表面筋電図の有用性に関する研究

上記に関して、世界神経会議で発表した（藤田）。

6 部門・部署ごとの事業計画

目標に対する2023年の達成度

2024年の目標等

2023年 5 月より COVID-19が感染症法の規定で5 類となったものの、引き続きコロナ禍への対応に苦勞した1 年であった。病床制限は引き続き必要であり、転院先の確保に難渋した。

外来診療では、近医・往診医への逆紹介を増やすように心がけた。

引き続き、脳卒中患者の早期転院と臨床研究の充實を目標としたい。

（文責：崎山 快夫）